

平成21年7月中国・九州北部豪雨による災害の対応等について

1 大雨の状況

7月19日から26日にかけて西日本で梅雨前線の活動が活発となり、21日には山口県を中心に1時間雨量が80ミリを越える記録的な大雨を観測（防府市では、24時間雨量275ミリ及び1時間雨量72.5ミリを観測し、観測史上1位の値を更新）した。

また、24日から26日にかけて九州北部を中心に大雨となり、特に、福岡県、長崎県では1時間雨量が100ミリを越える猛烈な雨を観測した。

2 山地災害及び被害の状況

山口県で275箇所、福岡県で150箇所、長崎県で95箇所、佐賀県で91箇所などの山地災害が発生（12月10日現在）

今回の大雨により、死者31名の人的被害が発生（11月19日現在）。このうち、山地災害による人的被害は15名（山口県：11名、福岡県：4名）

3 主な対応状況

防災担当大臣を団長とする政府調査団の一員として、林野庁から治山課山地災害対策室長を派遣（7月22日（山口県）、7月27日（福岡県））

山口県における被災状況の把握と今後の対応を検討するため、林野庁及び近畿中国森林管理局の担当官、（独）森林総合研究所の専門家を山口県へ派遣（7月22日～7月26日）

山口県知事から林野庁長官への災害復旧へ向けた技術的支援等の要請（7月27日）を受け、林野庁及び近畿中国森林管理局の治山技術者を派遣し、緊急性を要する箇所について、災害関連緊急治山事業の実施計画作成に向け調査を実施（7月27日～8月5日）

これまでに、35箇所、事業費2,187百万円（山口県21箇所、事業費1,110百万円、福岡県9箇所、事業費711百万円、佐賀県4箇所、事業費230百万円、長崎県1箇所、事業費136百万円）について災害関連緊急治山事業を採択

これまでに、山口県において2箇所、工事費30百万円について治山施設災害復旧事業（補助）を採択